

議事録

会議の名称	平成28年度第1回加東市総合教育会議
開催日時	平成28年7月22日(金) 午後2時57分～午後4時5分
開催場所	社福祉センター2階 レクリエーション室
<p>議長の氏名 (市長 安田正義)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p><出席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員長 大島 巧 男 ・教育委員長職務代行者 藤本 洋 二 ・教育委員 神崎 芳 美 ・教育委員 浅川 る り ・教育長 藤本 謙 造 <p><欠席委員></p> <p>なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副市長 吉田 秋 広 <p><協働部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働部長 芹生 修 一 ・企画協働課長 長谷川 茂 ・企画協働課主幹 平野 好 美 ・企画協働課主幹 三和田 剛浩 <p><教育委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育部長 堀内 千 稔 ・教育総務課長 大橋 博 英 ・教育総務課副課長 柴崎 俊 之 ・教育総務課副課長 片嶋 美 紀 ・学校教育課副課長 藤原 路 寛 ・生涯学習課長 陰山 芳 輝 ・人権教育課長 大西 祥 隆 ・中央図書館長 大橋 正 明 	
<p>1 議 題</p> <p>(1)加東市教育大綱(案)について</p> <p>2 会議資料</p> <p>(1)加東市教育大綱(案)</p> <p>(2)加東市東条地域小中一貫校開校準備委員会</p> <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「平成28年度第1回加東市総合教育会議・会議の経過」のとおり</p>	

(別紙) 平成28年度第1回加東市総合教育会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
事務局	<p>1 開 会</p> <p>皆さんこんにちは。</p> <p>定刻よりも早いですが、皆様おそろいですので、ただいまから平成28年度第1回加東市総合教育会議を開催させていただきたいと思っております。</p> <p>私、本日の司会進行を務めさせていただきます企画協働課の平野と申します。よろしくお願いいいたします。</p> <p>初めに、加東市長の安田正義が御挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>2 市長あいさつ</p> <p>今日は、大暑という日を迎えて、いよいよ暑さもピークを迎えるといったところでございます。そういう中で、子どもたちが非常に楽しみにしている夏休みがスタートしたところでございますが、残念ながら、昨日、交通事故によりまして尊い命が失われたというような、悲しい事故が発生してしまつたところであります。早速に、学校のほうでは全校集会、そしてまた教育長の方では臨時の校長会等を開催して、さらに事故防止に努めていく、そんな取組を進めておるところでございます。そういう中で、今日、平成28年度第1回の加東市総合教育会議の御案内を申し上げましたところ、本当にお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>御承知のとおり、加東市制施行しましてから10年が経過して、今11年目の歩みを進めておるところでありますけれども、新しいステージということまでこれまで申し上げてきております。新しいステージ加東、輝く加東をどのように実現していくのかということ、まちづくりを進めているところでございますが、この間、私どもとしましては、まずは市民の安全・安心を最優先する。そして、まちの活力とにぎわいづくりを推進していく。さらには教育環境の充実、子育て支援、就労支援、そして5つ目には人権教育、人権啓発の推進をやっていく。そういうようなことで取り組んでおるところでございます。それからさらに今状況としまして、全国的な状況でございますけれども、少子化、高齢化ということがずっと言われておるわけでございますが、一自治体がこれをしたからといってなかなか解決するものでもございませんけれども、しかし、やはり我々としてやっていかなければならない状況でございます。人口の減少対策、そして地域の元気づくりに取り組む、このことがやはり急務であろうというふうに捉えておるところでございます。加えまして、子どもたちがふるさとを愛する心を育む、そういう中で健やかに成長していける、そういう環境をつくっていく、このことも非常に大事だろうというふうに思っているわけでございます。そうしますとやはり教育の果たす役割、学校教育が果たす役割も非常に大きなものだというふうに捉えておるところでございます。昨年5月に第1回目の総合教育会議を開催させていただいて、教育大綱について協議いただきました。そして、8月に第2回目の会議を開催させていただいて、教育大綱の骨子について協議いただいたところでございます。おおむねそのときに合意が得られたというふうに思っているところであります。</p> <p>そして、本年3月でございますが、教育振興基本計画を策定いたしました。今回、まず後ほど事務局の方から教育大綱(案)について御説明を申し上げますが、その教育振興基本計画の基本理念あるいは5つの基本方針はや</p>

	<p>はり教育大綱の中にきっちりと位置づけるべきものというふうに捉えております。加えまして、重点的に推進していかなければならない、重要施策を9つ加えて、教育大綱にしていきたいというふうに思っておるところでございます。今日がその協議、調整の場となりますことを心から期待したいというふうに思っております。</p> <p>また、東条地域におきましては小中一貫校開校に向けましての準備委員会が6月に設立されまして、子どもたちのためのよりよい教育環境を創出し、地域の実情に即した学校となるよう、鋭意調整が行われておるという状況もでございます。各教育委員皆さん方のさらなる関わりを是非、お願い申し上げます。開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>事務局</p> <p>議長 (市長)</p> <p>企画協働 課長 (長谷川)</p>	<p>3 協 議 (1) 加東市教育大綱 (案) について</p> <p>それでは協議に入らせていただきます。</p> <p>運営要綱第4条第3項の規定によりまして、会議の議長は市長をもって充てるとありますので、これからの会議の進行は市長にお願いいたします。</p> <p>それでは、早速でございますが、会議次第によりまして3番の協議に入らせていただきます。加東市教育大綱 (案) について事務局の方から御説明を申し上げます。</p> <p>お配りさせていただいております教育大綱 (案) について説明をさせていただきます。1ページをめくっていただきまして、挨拶を示しておりますが、先ほど市長の挨拶と全く同じで、学校教育の果たすべき役割が大変重要になってくるという中で、この教育大綱をまとめさせていただくということでございます。そして、次の右側に目次を示させていただいておりますが、この教育大綱につきましては4つの章から組み立てております。まず最初に、加東市教育大綱の策定に当たって、2つ目に加東市教育大綱の策定方針、3つ目に重点的に取り組む教育施策、そして4つ目に加東市教育大綱の検証と見直しでございます。教育大綱の中身につきましては、第2章、第3章、第4章で示しておりますが、第1章につきましては、地方教育行政の制度改革ということがありまして、なぜこういう教育大綱をつくることになったのかということをお知らせする必要があります。そういう中で教育大綱という形で取りまとめるのは今回が初めてになりますので、この教育大綱の中でお示しすることによって、市の説明責任を果たしたいということで、大きく分けて4つの改革があるわけですが、そのことを示させていただいております。そして、第2章がこういう教育大綱をつくるんですよという策定方針。そして、今市長の挨拶にもありましたように重点的に取り組んでいくことを9つ挙げまして、詳細な説明を加えさせていただいております。そして、第4章に計画を立てただけではいけないので、実行し成果を上げるためにどういうふうに進行管理をし、検証していくかということをお知らせさせていただきます。</p> <p>それでは、次へめくっていただきまして、1ページ目でございますが、これについては地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、平成27年4月1日に施行されまして、大きく制度が改革されております。これについては皆さんよく御存じかと思っておりますので、説明は省かせて</p>

いただきますが、次のセンテンスの中で加東市教育大綱の策定に当たり、市民の皆様にご理解の内容を御理解いただくことが、教育行政を推進していく上で大変重要であると考えているところで、ここでこういうことが起こっているんですよということを市民にお知らせする意味でこの大綱をお借りして、概要を示させていただいているというところでございます。

そして、次1ページめくっていただきまして3ページ目からですが、ここからが、教育大綱になります。先ほど市長が申しましたように教育については教育振興基本計画が平成28年3月に議会の承認を経てすでに策定されております。そして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の中でも教育振興基本計画をもって教育大綱にできるということも書かれております。そういった中で、教育振興基本計画の基本理念、基本方針を教育大綱に位置づけながら、挨拶にもありました、子どもたちをしっかりと教育していくことが今後加東市のまちづくりにおいても非常に重要であるということ踏まえ、それに特化した形で教育振興基本計画の基本理念、基本方針を大綱に位置づけながら、子どもたちの重要教育施策をつけ加えていって、教育大綱として取りまとめたいというのが案でございます。4ページに書いておりますが、2の加東市教育大綱の策定方針ということで、加東市教育大綱は加東市総合教育会議において協議、調整した結果、これが本日の会議でございます。この会議で協議、調整が調った暁にはこれを大綱とさせていただきますというところでございます。

そして、第2期加東市教育振興基本計画の基本理念及び5つの基本方針を教育大綱に位置づけます。そして、加東市は市制施行から10年が経過し、新しいステージにふみ出す段階であること、「輝く加東」を実現するには、加東市の子どもたちが心身共に健やかに成長するとともに、ふるさと加東を愛する心を醸成する必要があること、未来を生きる子どもたちの新たな教育のあり方として、小中一貫教育を推進すること、高度情報化の進展や社会環境の急激な変化において新たに出現する教育課題に対して、迅速、的確に対応していく必要があること、改正法の趣旨から、これまで以上に地方教育行政に民意を反映させる必要があること、これらを踏まえまして、子どもたちの教育を中心に重点的に取り組む施策を次の章で重要課題としてお示しをし、それを含めて教育大綱としたい。そして、これらの執行に当たっては市長部局と教育委員会が十分に連携をとりながらやっていくことが重要であるというふうに示させていただいております。

そして、次のページ5ページですが、これにつきましては、定められた第2期加東市教育振興基本計画と加東市教育大綱の対比という形で示させていただいております。根拠法が違うわけですが、基本理念、基本方針そして対象期間は全く同じでございますので、教育振興基本計画については教育全てを網羅的に示しております。教育大綱についてはその中で子どもたちを中心に重点的に取り組むことを示させていただいているというところでございます。

そして、6ページから重点的に取り組む教育施策ということで、9つの施策を挙げさせていただいております。まず、1つ目の子どもたちの「確かな学力」と「豊かな学び」ということで、子どもたちが「確かな学力」を身につけるといことは、これはやはり親御さんにとっても地域の方にも一番大切なことであろうと思います。そういった中で、「豊かな学び」をまず提供して、子どもたちが「確かな学力」を身につけられるような環境を整える。そして、地域なりを巻き込む中で、豊かな学びを創造していくというふうなことを示しております。「確かな学力」と「豊かな学び」の中で特に重

要だと思っておりますことをその下に3項目挙げておりまして、その一つが子どもたちの発達段階に応じた人権教育の推進ということで、絶対人権感覚というのを身につけていかないといけないということを示しております。そして、その次がふるさと加東を愛する心の醸成ということで、やっぱりこの教育大綱については市長が策定するため、まちづくりと連動していかなければならないということで、子どもたちが元気に育つ中でふるさとを愛し、また加東市のために今後まちづくりにもかかわっていくということが必要になると思っておりますので、このことを挙げております。

そして、続きまして防災教育の充実ということで、まず加東市のまちづくりの最優先事項が安全・安心ということですので、教育の分野でもその役割を果たしていただきたいということで書いております。兵庫県の学校防災マニュアルの中で安全・安心を支える基本は、人と人が支え合う地域社会を形成することであり、そうした「自助」「共助」の考え方を身につけ、進んで行動する「減災社会」の担い手を育成することも教育に課された使命の一つであると考えていますということを、元兵庫県教育長がその学校防災マニュアルで示されておりまして、非常に大事な言葉ということで、そこから引用させていただいております。

そして、8ページですが、2番目の小中一貫教育の推進と3番目の小中一貫校の整備方針につきましては、教育委員会で鋭意取り組んでいただいている最重要事項でございますので、ここに掲げさせていただいております。そして続きまして、4番目の教育環境（学校施設）の充実につきましては、加東市が教育環境の充実ということで最も重点的に取り組んでおることは、耐震化ですとかAEDの設置、またトイレの洋式化、空調設備の設置を近隣市町に先駆けてどんどん環境を整えていっています。教育環境の変化を的確に捉える中で、小中一貫校の整備スケジュールも踏まえて、さらに取り組んでいこうということでございます。

そして次の5番目、英語教育の推進につきましては、目標として中学校卒業時には臆することなく英語の日常会話ができる生徒の育成を目指すということにしております。それについて、あらゆる教育を提供する中で、そういうふうな形を目指していこうということと、また加東市国際交流協会とも連携して、豊かな国際感覚を身につけるとともに多文化共生を推進していくということになっております。

次に、食育の推進ということですが、これについてはこれまでそう言われていなかったのかなとは思いますが、今核家族化や夫婦共働き、ひとり親家庭の増加など家庭のあり方が変容する中で、食育の推進における学校給食の重要性がますます高まっていますということで、本来当然家庭がやるべきことなんですが、いろんな家庭環境が変わる中で、家庭の中でできていないことが当然あると思いますので、それをやっぱり学校の中でしっかりサポートするような環境になってきたのかなという考えの中で、このように示しております。また、地域の食文化や伝統に対する理解や関心を深めるとともに、正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身につける機会でもあると思いますので、学校給食というのは非常に大切だなということでここに挙げております。また今、加東市にあります県立社高等学校が食育についていろんな進んだ取組をされておりますので、それらとも連携することでより相乗効果が上がるのではないかと考えております。

そして、7番目のICT機器を活用した教育の推進でございますが、このICT機器の整備につきましては近隣市と比べても相当加東市は進んでいるのではないかと考えております。そういう優位性を今後も活かしながら、教

	<p>員のICT活用指導力を一層向上させる中で、子どもたちの主体的な学びを実現していこうということで挙げさせていただいております。</p> <p>次に、8番目の国立大学法人兵庫教育大学との連携強化でございますが、これにつきましては市長の所信表明の中で、教育環境の充実を一つの項目として、やはり兵庫教育大学が加東市に立地している優位性を当然活かしていかなければならないということで、まちづくりの中心にも据えておりますので、兵庫教育大学での特別支援教育の共同研究などの成果も上がっておりますので、そういう教育の知的財産を地域にも活かしながら、まちづくりも合わせて教育とともに進めていこうということでございます。</p> <p>そして、9番目のインクルーシブ教育につきましては、今障害がある者と障害のない者が可能な限り共に学んでいこうということが進められておりますので、その中で加東市では教育・福祉・保健・就労などの機能を一体化した、仮称になろうと思いますが、加東市発達サポートセンターの設置に取り組んで幼児期から就労までの生涯を見通した支援体制を整備していこうということで、重点的に取り組むこととございまして、これについても重要課題として挙げさせていただいて、続けていこうということでございます。</p> <p>以上の9点について重要課題として取り組んでいこうということで示させていただいております。</p> <p>そして、第4章につきましては、これらを推進していく上では、やはり実行性と実効性を確保するということが、これらをやって成果が上がっているのかということをしつかりと点検していく必要があるということ、この総合教育会議におきまして、少なくとも年に1回はできているのか、どんな状況かということを確認しながら、よりよい成果が生まれるような方向に持って行っていただきたいということで検証としております。また、時代が大きく変わっていく中で、教育環境につきましても、時代とともに急激に変化するかもしれません。そういうときどうしていくかということも、この総合教育会議において協議、調整いただいて、この教育大綱についてもその時代に応じて必要があれば見直すということを決めるということが重要と思ひ、記載させていただいております。</p> <p>以上簡単ですが、案について説明させていただきました。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>私どものほうで、出しております大綱の案ということで、説明を申し上げました。ここからは、今日は協議、調整の場ということでございますので、皆さん方から、自由な御意見等をうかがえたらいいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>委員</p>	<p>教育大綱を最初からずっと落ちついて見させていただきました。私が今までに目にしたような事柄や、加東市の教育方針について、いずれも納得できるようなところばかりだったのですが、6番目の食育の推進というところで、加東市がこんなに力を入れているのかなと、ちょっと疑問に思ったことがありまして、本当にいいことなんです、市長はどうしてそれを推進しようと思われたのかということなんですけれども、私としては学校給食だけで食育ができるかと言えばなかなか難しいと思うんです。それを推進することは、今言われました実行性及び実効性ですね、こういうふうにして結果が出るというのはどうお考えになるのでしょうか。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>これまでなかったという話なんです、我々の中では食育というのはこれまでの中でもやってきておったといひますか、そんな思いで実はあります。</p>

	<p>先ほど説明を申し上げましたけれども、一番やはり元になるのは家庭で培っていくべきことなんだろうけれども、しかし現実には学校給食という中で、そういうチャンスがあるわけですから、やはり活かしたいという大きな思いがございます。その中で、例えば残菜の減少については、いろんなことがあるのですが、やはり教育の分野の中において、自分たちが今このように給食を食することができるということの意義というか、加東市の場合は特に地域の皆さん方が生産された食材を極力活用していきたいと、そんな思いの中これまでできておりますので、加東市内で実は生産されて、いろんな方々が関わっておられることであなた方の給食というのが提供されるんですよ、といったこともやはり大事にしたいなという、そんな思いでこの中に今回入れさせていただいたということです。</p>
委員	<p>私も、地産地消ということでそれは本当にいい事だと思います。桃を使ったりとか、そういうのは教育に入れたらいいかなと思うんですけど、やはり私は、基本として食育というのは1日3回御飯を食べるとか、そういったほうからも入ってくるかなと思うので、このような給食をつくっているというだけでなく、やはり食事のこと全般についてどなたかが御説明してくださるとか、そういうのも入れてこそ推進かなとは思いますが。</p>
議長 (市長)	<p>やはり、人間が生活する中で、食というのは非常に大事なものであるというふうに言われております。今、月に1回でしたか、お楽しみ給食という献立を提供しております。そして、栄養士がその場に行って子どもたちの食事の状況をきっちりとかき、そしてそこでいろんな話をさせていただくというような取組を進めております。</p>
委員	<p>給食だけではなく、食育についての推進ということで、全般的に推進することによってよろしいでしょうか。給食を通じての推進ということですか。</p>
議長 (市長)	<p>我々として今、食の場面というのはいわゆる給食の時間しかないわけですが、食全般という話は当然そうなんですけれども、現実に関わりを持てるのであれば、学校給食という中で関わることができる、その機会をきっちりとかきしたい。</p>
委員	<p>これを今回全部見させていただいて、一応ちゃんと加東市の教育振興基本計画とか、重要な点ということで、たくさん入れられていると思います。ここで私が一番思ったのは、インクルーシブ教育については是非進めていただきたいということです。今もいろんな機会に連携して、特別支援教育を行っていると思うんですけども、今後は、より一人一人に適した支援が必要であると思いますので、専門的な高い知識が必要となってくるのではないかと思います。また、支援が必要な方々は、大人になり自立を目指して、就労までということをやっぱり、保護者の方も期待されていると思いますので、その取組が必要だと思っておりますので、保護者の方も発達サポートセンターを設置してほしいということなので、ここができれば本当に小さい時から大人になるまで、みんな不安なく、保護者も不安なく、子どもたちの成長を見ていけるのではないかと思いますので、設置に取り組んでいただきたいと思いました。</p> <p>後は7ページの防災教育の充実ということなんですけれども、今でも学校教育の中でいろいろやっていると思いますが、子どものころから防災意識を</p>

<p>議長 (市長)</p>	<p>持つことは、必要、大切だと思います。実際いざというときには、地域の方の意識が高くないといけないと思っているんですけども、その辺で学校の子どもたちと地域の方々と、今以上にどういことをしたいと市長は思われているのでしょうか。</p> <p>非常に難しいといえますか、防災ということについては、ここまでやればもう十分だというようなことは、まず私はないというふうに思っております。これまで、いろんな地域の防災訓練等にも参加させていただいて申し上げておるのは、まずは頭の中でこういときはこうすればいいんだというようなことを考えておくということは確かに必要だと思いますが、そのときはなかなかそんなことはできないことが現実には多い。そうなるとなかなか実体験というのは、誰もそんなことは経験したくないのですが、現実起こってしまう可能性というのは非常に高い。やはり、大事なことは繰り返し繰り返しそういった訓練をしていく、そのことが一番大事だろうというふうに実は思っております。</p> <p>新たに何をやるのかということですけども、今現在やっておりますのは地域の自主防災組織の皆さんと一緒に、児童・生徒が何かあったときに、いわゆる学校の引き渡し訓練と一緒に取り組みさせていただいています。そして、地域の自主防災組織については、自分たちができることを、まずは実際にやってもらっていますが、なかなか新たな取組ということになると、どんなふうにしていくのか、非常に難しい部分があるんですが、やはり、まずは繰り返し繰り返しする。啓発というのは実はそういうことなんだろうというふうに思います。わかっておるようなことでも、やはり何度も何度も繰り返し繰り返し、言い続ける、やり続けるそのことがやはり一番大事ではないのかなという思いがあります。委員の期待されているような内容にはなっていないかもわかりませんが。</p>
<p>委員</p>	<p>ここに地域に根差した防災教育を一層充実していきますと書いてあるので、充実していくというのはどういことなのかなと思って、それでお聞きしました。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>いつも防災訓練に行ったら言うんですけど、もっと自分を守る、家族を守る、地域を守るという意識を持って参加してもらわないと。現実、何かをしようとしたら、私はええわというふうにされてしまう人が多いんです。だけど、それでは自分を守れませんよ、家族を守れませんよという話です。やっぱり、言い続けることによって、最近見ておると、少しは意識が変わってきたなというように思っております。やはり言い続けることはやっぱり大事だなという思いです。</p> <p>それから、これは6月の初めごろでしたか、神戸新聞にこれまで150年に一度の確率での雨を想定しておったけれども、1000年に一度というような想定をした場合に、どうなるのかということが出ておりました。実はああいうことも、そうなるのかということだけでなく、実は起こるんですよ、そういう危険性が実はあるんですよということです。防災対策というのは、ここまでやったら恐らく150年に一度ということで、まあないでしょうということで想定しておった。しかし、現実にはいろんなところで50年、60年この地域に住んでおるといのに、今までそんなことは1回も経験したことがなかったと言うんですけど、実はそうではない。過去を振り返ればもっともっとさかのぼれば、何かがあったんだというふうに思います。あった</p>

	<p>はずなんです。それを今たまたま、言い伝えがどこかでできてないという状況があって、50年、60年住んでおられるけれども、こんなこと全く初めてやという表現になっているんです。決して私はそうではないなという思いを持っています。</p> <p>平成2年に1回、2日間で750ミリ降った。そんな大雨が来る可能性だって現実にあるわけです。そうなると、これからどうなっていくのか、やっぱりそういう意識を、是非持っていただきたい。それから、地域でみんな一緒になってマイ防災マップ、そんなものをつくっております。また、地域の皆様の御協力を得ながら、自分自身が住んでおる周りに、どんな危険な場所があるのだろうと考えることにより、認識が高まっていっているように思っております。できれば、全地域でマイ防災マップができればいいという思いでいます。</p>
委員	<p>市長さんの説明でよくわかりました。子どもたちが、防災という観念を持つことは大切だと思うんですけども、やっぱり大人のほうがもっと持たないといけないと思っています。広報の配付時にも防災マップみたいなのが入っていましたが、はっきり言って詳しく見ていません。大人のほうがやっぱりまだ意識が低いんじゃないかと思います。ですから、学校教育でも必要なんですけども、どちらかと言えば、やはり地域の方に防災教育というのは必要ではないかと思ひまして、お聞きしました。</p>
議長 (市長)	<p>学校だけをするのではなく、やはり地域の皆さんと一緒にやらないといけないし、減災という部分で受け継がなければならないと思います。</p>
委員	<p>今回お示しいただいた教育大綱(案)につきましては、今まで教育委員会で取り組んできたこと、あるいはこれから取り組んでいくような内容も網羅されておりますから、とてもよくできていると思っております。その中で、重複する部分もあるかと思いますが、例えば先ほどの防災教育の話は必要なのは当然のことなんですけれども、マニュアルも必要ですが、経験から言えば、災害があったときにそれぞれの担当部署で、その場その場でいろんなケースを考えて対応していかなければ回らないというようなことがあります。実は阪神・淡路大震災のときに私は神戸にいましたから、そういう対応をいろいろさせてもらったんですけど、阪神・淡路大震災も全く頭の中では想像してなかった事態が起きましたので、震災の後すぐに行って対応したんですけども、夜ももちろん寝れませんし、帰ることもできませんし、大変な状況を皆さんが対応なさったという記憶なんです。それを少しでも対応しやすくしておくのが訓練とかマニュアルなのかなというふうに思います。そういう位置づけをしていただいていますからいいと思います。</p> <p>それから、英語教育の推進ということも挙げていただいています。今現在も英語検定の検定料助成事業とか、教職員の海外視察・研修をさせていただいておりますし、平成28年度もかとう英語ライセンス制度、あるいは姉妹都市交流というような形で取り組んでいただいていますので、これも非常にありがたいなというふうに思っております。それから、先ほども浅川委員からありましたインクルーシブ教育の推進ということについては、とても大事なことでありますから、取り組んでいきたいなというふうに感じております。</p> <p>一点だけ、つい先日ですけれども、筑波大学の藤田教授の講演を聞かせていただいて、キャリア教育の推進がこれから大事だと。実際にこの中でも部</p>

<p>議長 (市長)</p>	<p>分的には表現していただいておりますし、トライやるウィーク等外に出て行って一緒にやらせてもらうというようなこともやっていますから、もう少しキャリア教育のことを具体化していく必要が、今後出てくるのではなかろうかなというふうなことを思っております。自分自身もそうでしたけれども、学校で勉強したことは、学校のときだけみたいなことになって、社会へ出てからは全然学校でしたことを覚えてないみたいな感じがあったんですけども、やはりこれからは学校で勉強したことが社会に出たときにつながっていくといった教育が必要でなかろうかというような、筑波大学の先生のお話がありまして、もっともだということを感じましたので、今後で結構ですけども、こういったことも掲げていく必要があるかなというふうに考えさせられましたので、自分の意見として申し上げました。</p> <p>まさに、そうだと思うんです。知識とか知恵とかというのは自分の生活、あるいは社会生活の中で活かしてこそ初めて価値があるもので、持っていてもそれが使えないとか、活かされなかったら何にもないなという、そんな思いが強かったりしております。そういう意味では、子どもたちが強くなるというようなことにつながればいいのかなあと思います。もっと言うなら生活力というような、そここのところが実は生きる力の一つなのかもしれないというような同じような思いでいます。</p> <p>それから、防災の話の中でマニュアルというと、防災計画があり、いろんなことをやっているんですが、それでもなかなかいざというときに、本当にそれがそのまま使えるかのと言えば、台風1つにしても、やはりそのときそのときの状況で雨が多い台風もある、風の強い台風もあるというようなこともありますし、やはりある意味マニュアルが大事なものという捉え方ではありますけれども、しかし現実には発生した状況に応じて、臨機応変というか、そういう対応もやはり必要ではないかなというそんな思いはあります。いつもいろんなことで感じております。</p> <p>それから、インクルーシブ教育、先ほどの関連のことなんですけれど、実はインクルーシブ教育という言葉が加東市の行政の中で出てきたのはもう数年前になります。そういう中で、そろそろ何かの形づくりに踏み出さないといけないという思いがあり、この中に入れさせていただいたところであります。英語にしましても同じような意味であります。</p>
<p>教育委員長 (大島)</p>	<p>一点だけ、防災教育の充実の中でこれは教育委員会の内部で検討をいただきたいんですけども、私も御所谷断層という断層の名前を初めて知りました。子どもたちの教育課程の中で、やはり、中学生ぐらいになったらこの辺の断層についての勉強をカリキュラムの中に入れる必要があるのではないかと。子どもたちが学習の中でああそうかと、断層が加東市の下には走ってるんやなというようなことを意識するようなチャンスをつくっていただければなと思いますが、教育長どうですか。</p>
<p>教育長 (藤本)</p>	<p>わかりました。</p>
<p>教育委員長 (大島)</p>	<p>お願いします。要望として言っておきます。 私、日ごろから思うんですけど、この加東市というのは教育にとって非常に恵まれた土地柄であるというふうに思っています。というのは、地域の教育力あるいは学校に対する協力というふうな観点から見ても、本当に加東市</p>

は地域が学校や学校教育や子どもたちの教育について前向きなお考えをお持ちいただいております、教育への協力を惜しまないというふうな雰囲気をお持ちなんです。ですから、地域のこういう教育力とか、加東市は恵まれている地域であるということも大いにこの中に謳っていただければと思っていたんですけども、幸いそういう文言をたくさん入れていただいておりますので、加東市は恵まれている、その恵まれている上に兵庫教育大学がある。兵庫教育大学と連携する中で、兵庫県には実は42の教育委員会があるんですけども、その中でこれだけ恵まれた環境にあるのは加東市だけだと私は思っています。西宮市は関西学院大学と協力しているというのは私何度も聞きますけれども、足元に絶えず兵庫教育大学があるというこういう恵まれた環境であります。その環境を利用しないのはもったいないと思います。その辺も謳っていただければと思っていましたけれども、この教育大綱（案）の中に国立大学法人兵庫教育大学との連携強化というふうに8番で謳っていただいております。こういうふうな部分についても、またインクルーシブ教育については先ほど出ましたけれども、インクルーシブ教育システムの確立につきましてもやっぱり時代の先端を走っている教育システムですので、この辺についてもお互いに協力し合ってお知恵を借りながら進められるということでもあります。総じて申し上げるのは、加東市はこれだけ恵まれた環境にあるんだということ、大いにこのように謳っていただいていることを私ありがたいことだと思っております。

教育長
(藤本)

1点なんですけれども、1つ目の子どもたちの「確かな学力」と「豊かな学び」の2つ目に、子どもたちの発達段階に応じた人権教育の推進というところがあるんですが、本当に大事な視点だと思っております。市長も人権教育の推進ということをおっしゃっています。今なお差別、偏見が残っているという原因の一つは、正しく理解できていないということであつたりとか、あるいは大人から間違った考え方をそのまま子どもたちが受け入れてしまっているというふうなことが残している大きな原因であるのではないかと思っております。そこで、偏見をなくすことが一番大きな課題かなと思います。子どもたちは偏見を今もっていない、その偏見をどうやってなくしていくか、見抜く力をつけるのかというのは、一つはそれぞれの子どもたちの発達段階で大事な視点ではないかなというように思っておりますので、できればこの文章の1行目のところに、次の文言を挿入していただくほうがいいのではないかなという案を持っています。今から申し上げます。子どもたちの発達段階に応じた人権教育の推進のところ、子どもたちの「豊かな学び」の創造に当たっては、何よりもの続きなんですけれども、人権に対する正しい理解とあらゆる偏見を見抜く力を育成し、もう一度申し上げますが、子どもたちの「豊かな学び」の創造に当たっては、何よりも人権に対する正しい理解とあらゆる偏見を見抜く力を育成し、人権尊重を当たり前の社会意識として身につけていく必要があります、という文言が必要ではないかと感じております。もちろん優しさであるとか、あるいは思いやりであるとか、そういう言葉もちろん大事であります、優しさにもいろんな優しさ、人を伸ばしていくための優しさもあれば、だめにする優しさもあるのではないかなと思ったりするわけなんですけれども、それはやっぱり正しいことを理解する、そして偏見を見抜く子どもたちを育てていきたいと思っております。教育大綱の中身は子どもたちの教育にかかわることですので、このあたり社会教育でやっていることについては当然続けていくことは、もちろんでございますが、子どもに関しては正しく理解し、偏見を見抜く力をつけさせるということが

<p>議長 (市長)</p>	<p>大事な視点ではないかなということ、そこにつけ加えさせていただいたらうれしいなと思っています。</p> <p>子どもたちの「豊かな学び」の創造に当たっては、何よりも人権に対する正しい理解とあらゆる偏見を見抜く力を育成し、あとは一緒ですね、人権尊重を当たり前の社会意識として身につけていく必要があります、この部分について、いかがでしょうか。ないようであれば、提案をお受けしたいというふうに思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>〔「よろしい」の声あり〕</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>そうしましたら、最終形ではそれもつけ加えます。</p> <p>先ほどの件は、要するに子どもたちにとってはそういうことなんです、今言っていたように、いわゆる社会教育の中でやっていく啓発活動の中では、あくまでも人権を尊重するというは引き続きそれぞれの中でやっていただくということです。ほかにございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>これでもいいかなと思うんですけど、6ページの、今先ほどおっしゃった分のちょっと上ですけれども、1番の子どもたちの「確かな学力」と「豊かな学び」の文言ですけれども、上から8行目、ちょっと余白がある行の上で、また、子どもたちが人権尊重の精神や生命に対する畏敬の念、公共の精神、伝統や文化を尊重する心を育成するための「豊かな学び」を提供します。というところと、その次の、さらに、学校は地域と共にあることが重要であることから、次の3項目を重要課題として取り組み、子どもたちの「豊かな学び」を創造します、と同じ「豊かな学び」という言葉があって、前は提供します、後ろは創造しますというような文言になっていますので、その「豊かな学び」を提供しますというのは、何を指して提供すると書いてあるのかと、その辺が理解しにくかったところです。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>この部分の捉え方なのですが、学校いわゆる教育機関が、要するに能動的に提供していく、関わっていくということです。後ろは、創造しますというのは、そういう部分と、学校とのきずなとか地域という広がりの中で目指していくという、そんな思いということです。</p>
<p>委員</p>	<p>なるほど、提供しますというのは、学校としていろんなそういう学ぶ機会というものを提供するという意味のことですね。結構です。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>ないようであれば、先ほど教育長のほうから提案をいただいた部分をつけ加えさせていただいて、これを教育大綱として提示することで一致いたしたいと思います。もちろん今、最終の部分にございますように、評価・検証ということで年1回、皆さんと一緒にやっていきたい、その中で見直すべきことがあれば見直していくなど、そういう意味でこれから進んでいきたいと思っております。よろしいでしょうか。</p> <p>〔「よろしい」の声あり〕</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>ありがとうございます。それでは、教育大綱については私の方で整理させていただきたいと思います。</p>

<p>議長 (市長)</p>	<p>4 その他</p> <p>それでは、次にその他ということで、御意見をお伺いしたいというふうに思います。特になければ、小中一貫校開校準備委員会の状況について、事務局のほうから、御説明を申し上げます。</p>
<p>教育総務課副課長 (柴崎)</p>	<p>別紙で用意しております、加東市東条地域小中一貫校開校準備委員会と書いてあります資料を御覧ください。現在進めております開校準備委員会に關しましての報告となります。開校準備委員会に關しましては、地域や保護者、学校関係者、合計34名で構成しております。第1回目を先月15日の水曜日に東条中学校で開催しております。内容に關しましては、まず1回目でありましたので正副委員長の選出、石田委員長並びに山本副委員長を選出しております。また、開校準備委員会の組織と今後の活動に關しましても説明しております。</p> <p>第2回目に関しましては、今月13日の水曜日に同じく東条中学校で開催しております。内容に關しましては、開校準備委員会の下部組織であります専門委員会・各種部会の設置に關しまして、まずその活動内容に關しましての説明をしております。また、1回目の会議開催時におきましては、やはり最初の会議でもありましたので、質問等があり、その質問に対して説明をさせていただきます。</p> <p>今後の予定としましては、第1回の専門委員会(部会)の開催を計画しております。日にちに関しましては、8月上旬を今のところ予定しております。内容に關しましては、専門委員会委員、部会委員を対象に活動内容についての説明、また視察の提案をしていこうと思っております。その提案が認められましたら、8月後半に先進校の視察を予定しております。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>教育委員会から開催状況等について説明をさせていただきましたが、この件について何かございませんか。</p>
<p>教育長 (藤本)</p>	<p>今、34名の方々に参加していただいているということなんですが、事前の研究会が8回、それから各地域の推進協議会が4回と計12回会議をされていたメンバーが一部入っておられますが、新たな方々、例えば地区の区長さんでありますとか、民生委員さんでありますとか、東条地域の各保育園の保護者の代表の方に入っておりますので、新たに入ってきた方と、研究会、推進協議会に参加されていた方とありますが、やっぱり疑問が多いというのは、もちろん途中から入ってきた方ですので、例えば第1回目の話ですけれども、平成33年度の開校時にどれぐらいの生徒数になるのかとか、あるいはどういうコンセプトで小中一貫教育をやろうとしているのかとか、教育活動はどうなっているんだというようなことも含めてお話があったり、なぜこの場所に決めたのかということもありました。そういうところを丁寧に説明しながら、東条地域の子どもたちのよりよい教育環境をつくっていきたいということで、今後もさらに丁寧な説明が必要ではないかなと考えています。ようやく、開校準備委員会という大きな組織があつて、そこから2つの委員会が今でき上がっていて、それが3回目になります。</p> <p>その後、細かな問題も含めてあるわけですが、今後考えていかなければいけないのは、1つは皆さん方が一番気になさっている通学の方法、スクールバスの運行等々については、今後すぐにやっていけないことであろうということと、それからどのような教育活動を保障する施設を提供</p>

	<p>するのかという、施設の問題ということに今後すぐ取りかかっていかないといけないのかなというようなことで、いろいろと丁寧に説明を加えながら、進めていかなければいけないなという思いでいます。</p> <p>もう1点、代表的な意見というか、2回目でお聞きしたのは、傾斜地の所のずれがどうかということがあったり、コスミックホールの所はつかるのではないかなというような意見があるわけですけど、今のグラウンドが以前、ちょっとずれたという経緯がありまして、そこは本当に安全なのかというようなことも含めて、いろんな御意見をいただいています。これについても、やはりさらに安全な施設ということは必要だと思いますが、そういうことも含めて、きっちりと説明を丁寧に参らなないといけないなという思いでいるところです。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>委員さん方に東条中学校のグラウンド北側の斜面の状況については、報告していないのか。</p>
<p>教育部長 (堀内)</p>	<p>グラウンドの北側につきましては、昨年度から県の施工した防災対策がうまく機能しているかどうかも含めて、市の単独の予算を入れて調査をしております。その中で、例えば横のパイプが入っているんですけども、雨が降った後にきっちりとそこから排出されているとか、ひずみ計というのをに入れて動いているのかというのを調査しているんですけども、安全であるという基準は当然満たしております。雨が降れば、多少の動きはもちろんあります。でも、本当にわずかな動きで安全であるという報告書も業者のほうからいただいております。引き続き今年度につきましても、梅雨のシーズン、ちょうど梅雨明けしましたけども、その雨の影響がどうなのかということも、多分同じように安全だろうという結果が出てくるというふうに思っておりますが、引き続きそれは注視しながら安全対策をきっちりとしていきたい。今はそんな状況です。</p>
<p>委員</p>	<p>もうほとんど教育長なり部長なりが話してくれたんですけど、そのときに意見として結構強く出たのは、阪神・淡路大震災のときに、グラウンドのどの部分かちょっと私もよくわからないのですが、ひび割れが見えたというようなことのお話があった。そういうことがあったので、ボーリング調査とかをしていただいて、安全性を確認いただきたいという御意見がありました。</p> <p>それと、今あるグラウンドの活用という意味合いで、今のグラウンドとか体育館の大きさではちょっと狭いのではないかなというような、この間の2回目の委員会では御意見がありましたので、その辺はこれから専門委員会に分かれて議論していただく事になっておるようですので、いろんな意見が出てくるのではなかろうかという感じしております。</p>
<p>委員</p>	<p>専門委員会の委員はどのように決められたのですか。</p>
<p>教育総務 課副課長 (柴崎)</p>	<p>専門委員会に関しましては、皆様方に入っても構わないという委員会を自ら言ってもらいまして、それで編成しております。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>ありがとうございます。それでは、今年度第1回目の総合教育会議ということで、教育大綱について御協議いただきました。御意見をいただき協議、</p>

<p>企画協働 課長 (長谷川)</p>	<p>調整の場が持てたというふうに思っております。そして今、小中一貫校の開校準備委員会の状況についても御説明を申し上げたということでもあります。それでは、協議の方につきましては以上をもって閉じたいというふうに思います。あと、事務局のほうへお返しをいたします。</p> <p>本日の会議に続きまして次回の総合教育会議につきましては、今の予定では10月下旬ごろの開催を予定しておりますので、またよろしくお願ひしたいと思ひます。事務局からは以上でございます。</p>
<p>事務局</p>	<p>5 閉 会</p> <p>それでは、以上をもちまして平成28年度第1回加東市総合教育会議を閉会とさせていただきます。慎重に御協議いただきありがとうございました。気をつけてお帰りください。</p> <p style="text-align: center;">午後4時05分 閉会</p>